



観音寺小だより

〈発行〉
観音寺市立
観音寺小学校

校庭の風景

全国小学校社会科研究協議会研究大会

〜チーム観小の底力〜

去る二月十日、全国小学校社会科研究協議会研究大会を開催しました。全国各地から六〇〇名を超える参会者が集まり、盛会に終えることができました。

平成二十六年の開校から始まったこの社会科の研究。三年間の研究の成果を発表することができました。

社会科サプリアや公開授業を参観した方からは、

「真剣に考える子どもたちの姿に感動しました。」

「子どもたち同士で、あんなに話し合えるなんてすごいですね。」

とお褒めの言葉をいただきました。また、アトラクションを見た参会者からは、

「二年生の一生懸命な姿に、胸が熱くなりました。」

「高学年の合唱の素晴らしさに、涙がこぼれそうになりました。」

などの御感想をいただきました。うどんなおいしさには、満足そうな笑顔で応えてくれました。多くの方々が感動を胸に、気持ちよく観音寺小学校をあとにされたと思います。

このような研究大会が開催できたのは、子どもたち、教職員の真摯な努力と雪が舞う極寒の中それぞれの役割を果たして下さったPTA評議員の皆様、温かいさぬきうどんで参会者をもてなしていただいたサポーター隊の皆様の御支援の賜です。本当にありがとうございます。

「チーム観小」の底力を感じる一日となりました。今後とも、温かい御支援のほどよろしく願います。



教室の風景

もうすぐ二年生

一年

二月一日に、新しく入学してくる園児との交流活動を行いました。初めに、小学校の先輩として、一年間の経験を元に小学校の生活について発表しました。勉強や給食・休み時間の過ごし方について教えてあげたり、友達をたくさんつくる方法を紹介したりしました。

次に、園児とペアになって一緒に楽しい工作を作りました。「どんなふうにしたい?」と優しくたずねたり、「絵をかいたのがうまいなあ。」とほめてあげたりすることができました。最後に出来上がった工作で仲良く遊びました。

交流活動の感想には、「幼稚園の子がにこにこ笑顔で帰ってくれたのでうれしかったです。」や「入学式でまた会ったのがとても楽しみです。」などが書かれていました。入学してから一年間が経とうとしています。二年生に向けて頑張る気持ちさがさらに高まった時間になりました。



社会科の全国大会で!

五年

二月十日(金)の社会科の全国大会で、五年生は社会科サプリアや授業を公開しました。東北地方から九州まで、全国各地からおいでた先生方に「自然災害を防ぐ」の授業を見ていただきました。緊張した空気の中で、真剣に考えたり、命をめぐって話し合ったりし、教室は雪が舞う外の寒さも吹き飛ばし、熱気に満ちていました。

参観した先生方からは、「感動して、授業が終わっても動けなかった」「さすがに言葉が出なかった」「もっと見ていたかった」「対話を通して深い学びができています」「どの子どもも自信をもって質問や反対意見が言えている」「子どもが授業を創っている」などの感想をいただきました。

自分で考え、自分で判断し、それを表現できる学習を通して、子どもの社会的な見方や考え方が育っています。ここで得たものは、未来を切り拓く見方や考え方に繋がることと期待しています。

